

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		高等学校卒業程度認定取得支援				所管	区民部 子育て・若者支援課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	210	計画事業名	ひとり親家庭の自立支援				
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成						事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1)安心して子育てできる環境づくり						[事業開始]	平成29年度
		[施 策] ③配慮を要する子どもや家庭への支援						[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		台東区ひとり親家庭高等学校卒業程度認定取得支援事業実施要綱				
	事業対象	直接の対象 : 母子家庭の母若しくは父子家庭の父又はその児童(20歳未満) 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	ひとり親家庭の親又はその児童(20歳未満)が高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す場合、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の一部を支給することにより、ひとり親家庭の親及び児童の学び直しを支援することを目的とする。							
事業内容 [29年度]	①受講修了時給付金 講座受講費用の30%(下限4,001円～上限200,000円) ②合格時給付金 講座受講費用の70% ※①と②の併給上限額 300,000円								
委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	国								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	給付件数(受講終了時給付金)	件	1	-	-	0	-	
		給付件数(合格時給付金)	件	1	-	-	0	-	
	成果指標	認定試験合格率(合格者数/給付件数)	%	40.0	-	-	-	40.0	
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-		-		419
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-		-		0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-		-		0
		総経費			-		-		419
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-		-		0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-		-		0		
一般財源(区負担額)			-		-		419		
前回評価から29年度に改善した事項	平成29年度新規事業である。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	高等学校卒業程度認定の取得は就業に有利になるが、その対策講座の受講料はひとり親家庭にとって高額であるため、ひとり親家庭の自立のために行政の支援が必要である。						
	効率性	3	児童扶養手当現況届出時における周知や自立支援プログラム策定時の個別案内など、他のひとり親家庭を対象とした事業と連携し、効率的に事業を実施している。						
	手段の適切性	3	厚生労働省の集計によると、平成30年3月末現在の就職内定率は、高校新卒者で99.3%、中学新卒者で80.1%となっており、高卒資格は就業に有利になる。そのため、取得のための講座受講料を支給することは、自立支援策として適切かつ有効である。						
目的達成度	1	制度に関する相談は数件あったが、制度利用には至らなかった。引き続き、対象となるひとり親に対して事業の周知・広報を実施していく。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
学び直しの支援はひとり親家庭の自立や生活の安定につながる。対象となるひとり親の把握と個別周知の方法を工夫しながら、セーフティーネットの一つとして事業を継続していく。						改善			
						拡大改善維持縮小廃止・終了			